

区民
かわら
版

山科区農業祭

区内で生産された旬の新鮮で高品質な農産物の品評会や展示・即売などを行います。品評会に出品される農産物は丹精込めて育てられたものばかりです。また農業祭は、質の高い品を安価で購入できる機会です。今年もなすやトマトなどの夏野菜をはじめ、米、鉢物、花苗のほか、勧修寺地区特産の新鮮なぶどうなど多数の展示・即売を

予定しています。皆さん、ぜひお越しください。

日時 7月17日(土)
午前10時～午後3時30分
*台風など悪天候の場合は中止します

*販売は午後2時30分から開始します
*買い物袋をお持ちください

場所 区役所前広場

問合せ先 東部農業振興センター (☎641-4340)



京都市西野児童館が オープンします

7月1日、区内で11カ所目となる京都市西野児童館が開館します。

当館では、専任の児童厚生員が遊びや各種活動の指導などを行い、子どもたちの健やかな育成を図り、地域に開かれた施設として親しまれるよう活動していきます。

また、昼間に保護者が不在のご家庭の小学校1～3年生(障害のある児童は4年生



まで)を対象とする学童クラブ事業も実施します。詳しくはお問い合わせください。

場所 西野榎川町27番地の3

開館時間 午前10時～午後6時30分

(学童クラブ/平日:放課後～午後6時30分、土曜日及び学校長期休業中:午前8時30分～午後6時30分)

対象 0～18歳までの児童(乳幼児は保護者同伴)

利用方法 自由に来館(ただし行事によっては事前申し込みが必要)

*学童クラブ事業は登録制

費用 無料(行事によっては実費負担必要)

*学童クラブ事業は有料

休館日 日曜・祝日及び年末年始

問合せ先 市児童家庭課施設整備担当 (☎251-2380)

みんなでつくろう 新しい山科区基本計画 1

平成23年度から10年間の山科区の方針となる「山科区基本計画」。現在、その策定に向けて山科区基本計画策定委員会ではさまざまな意見が出されています。

区民の皆さんの思いの詰まった計画にするためには、より多くの皆さんの意見が必要です。

今回、出産・子育てを控える方々を対象とした「パパママ教室」に参加されたプレママの皆さんに「山科の好きなところ」「これからの山科」について聞いてみました。

10年後、これから誕生されるお子さんは

10歳を迎えます。子どもたちに、こんな山科を残したい、伝えたいという思いが伝わってきました。

●山科のここが好き！

- 毘沙門堂、疏水など、緑豊かで美しい景色がある。
- JR山科駅があり、遠くへ行くにも、近くから知人に来てもらうにも便利。
- スーパーが多くて便利。

●少し不安に思っていること

- 道が狭いので、自転車に乗っていても、歩いていても、車と接触しないかと不安。
- 子育てをする中で車に乗ることもあると思うが、道が狭いため運転が心配。
- マンション住まいで地元の自治会のことがあまり分からない。

●こんなことができたらいいな！

- 電柱の地中化で道幅アップ！

区民壮年

ソフトボール大会

5月16日(日)に第34回山科区民壮年ソフトボール大会が勧修寺公園グラウンドで開催されました。

13学区の体育振興会チームが出場し、熱戦が繰り広げられ、接戦の末、音羽川体育振興会チームが16年ぶり、悲願の優勝を勝ち取りました。



優勝 音羽川体育振興会チーム
準優勝 大宅体育振興会チーム
三位 音羽体育振興会チーム
三位 山階南体育振興会チーム

優勝した音羽川体育振興会チームは、7月25日(日)(雨天時8月1日)に岩倉東公園グラウンドで行われる京都市大会に山科区代表として出場されます。

問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)

- 自転車でも安全に移動できるまちにしたい。
- 自転車のマナー向上は絶対必要。自分の子どもにも自転車の講習を受けさせたい。
- 高齢者のレクリエーションの機会が多くあれば、活気あるまちになるのでは。



これからベビーカーを押して歩くことになるので、歩道が整備されていない場所、バリアフリーが十分でない場所を改善してほしい。プレママの皆さん、ご協力ありがとうございました。今後も、計画の策定に向けて、区民の皆さんに意見を伺っていきます。

問合せ先 区総務課企画広報担当(☎592-3066)

もっと
知りたい！

山科の大学

第1回 京都橋大学「地域連携と京都橋大学」

区内には、2つの大学があります。その大学について、学生たちが何を学び、地域の中でどのような活動をしているのかご存知ない方も多いのではないのでしょうか。

そこで今年度、区内の2つの大学にスポットを当て、区民の皆さんが大学を知り、地域の大学としてより身近に感じていただけるよう連載を行います。

京都橋大学は大宅山田町に所在し、現在4学部(文学部、人間発達学部、現在ビジネス学部、看護学部)8学科を設け、学生数約3千200名を擁する4年制大学です。今日まで区内を中心に、地域との連携、地域への貢献、そして地域との共同研究などのさまざまな活動に取り組んできました。

昨年10月、第2回を迎えた「やましな駅前陶灯路」や11月に開催された「恋の地・平安路漫やましな駅前陶灯路の路 in 勧修寺・随心院」にお越しになった方もおられるかと思いま



す。この事業では、学生たちが企画や運営に参加し、地域の皆さんと一緒にまちを更に活気づけようとして取り組んできました。また学生たちは、清水焼団地主催の「楽陶祭」や「陶器祭」などに参画し、まちの活性化を目的に共同研究を進めています。

地域子どもたちを対象にした、学生による企画も実施しています。児童教育を学ぶ学生たちは、「あそびの中で学ぶ」をテーマに、地域子どもたちの成長を支援する活動を行っています。「救急救命」「看護」の分野で学ぶ学生も多く、大学では、身に付けた知識や技術を地域へ還元する機会を設けています。学生・教職員による「救急救命講習会」は京都学生祭典や大学祭において、「たちばな健康相談会」は秋の大学祭の中で行っています。皆さんぜひ、お越しください。

サークル活動においても、地域とのつながりを深めています。吹奏楽部や箏曲部、和太鼓部は、地域のイベントなどに出演し、活躍の場を広げています。また、ボランティアサークル「守るんジャー」は、大宅小学校通学路での小学生の安全を守る活動を行っています。

ここで紹介したもののほかにも、学生・教職員は「歴史」「景観」などの分野で地域の方とまちづくりを進めるための共同研究を続けています。

大学では、山科のまちに根ざす大学として、今後とも地域の皆さんとのきずなを深め、学生の力を地域の中に生かし、学生が学ぶだけでなく地域がより住みよいまちになるための取り組みを続けていきたいと考えています。

京都橋大学学術情報課長

田中善信氏 執筆